

商工会報

あち

第9号

発行 阿智村商工会
43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



商工会事業の充実で 円高不況突破を!

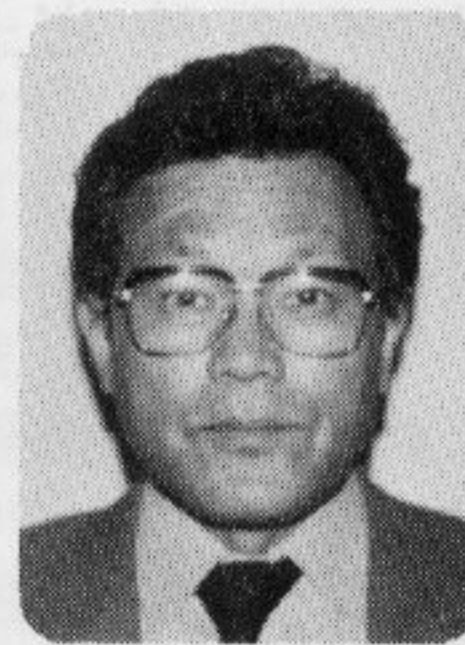
去る、五月二十六日に、通常総会が開催されました。
本年度は、かつてない円高不況にあえぐ小規模事業者にとって、試練の年でもあります。
この危機を乗り越えるために、基本方針に経営改善普及事業、一般事業の充実をうたい、事業計画も承認されて、六十二年度がスタートしました。

今年度の 主な一般事業

- 一、総務部
 - 商工会報の発行(年三回)
 - 珠算検定試験(年三回)
 - 会員増強対策の推進
- 二、商業部会
 - 街路灯建設の推進(六十三年度着工目標)
 - 商店街活性化対策事業
- 三、工業部会
 - 工業視察と企業懇談会の実施
- 四、経済部
 - 円高対策講演会の開催
 - 金融斡旋および審査会の開催
 - 金融懇談会の開催
- 五、厚生部
 - 金融懇談会の開催
- 六、観光部
 - 観光協会と共催による視察研修会の実施
 - 夏祭り煙火大会協賛
- 七、建設部会
 - 御太子講祭の実施
 - 先進技術視察研修
- 八、サービス部会
 - 小規模集団福祉事業(二年目)の推進(旅館業、飲食業を集団化)

二氏が新役員に

昨年十一月に、監事の佐々木政直さんが他界され、また理事一人が欠員となっていました。総会の席上、次の二人が選任されました。



理事 志直 光直
田中 やすら



商店 健一 一
木 征矢

永年勤続従業員表彰

通常総会の席上、永年勤続従業員表彰が行われ、次の方が受賞されました。

- ☆十年表彰
 - (阿智産業(株))
 - 佐々木藤吾殿・河合 勝雄殿
 - 遠山 忠司殿・塚田 文子殿
 - 森山みと志殿・熊谷一寸志殿
 - 原 朝男殿・山田 尚人殿
 - ☆二十年表彰
 - 熊谷 豊彦殿・小笠原 勇殿
 - 関口 昌秀殿・河合美代子殿
 - (株)湯元ホテル 阿智川)
 - 近藤 清幸殿・細江みさと殿
 - 細江ませ子殿・元島 武治殿
 - (有)藤倉電工)
 - 実原ほのえ殿
- 今後の、ご健勝とご活躍をお祈りいたします。

佐々木会長と智里ひがし会が知事表彰

去る五月七日、長野県庁の講堂において、佐々木会長と智里東農事組合法人が、産業功労知事表彰を受賞されました。

この表彰は、地域の産業に功績のあった方に贈られるもので、阿智村はもちろんのこと、郡・県に貢献されて、映えある受賞となつたわけです。

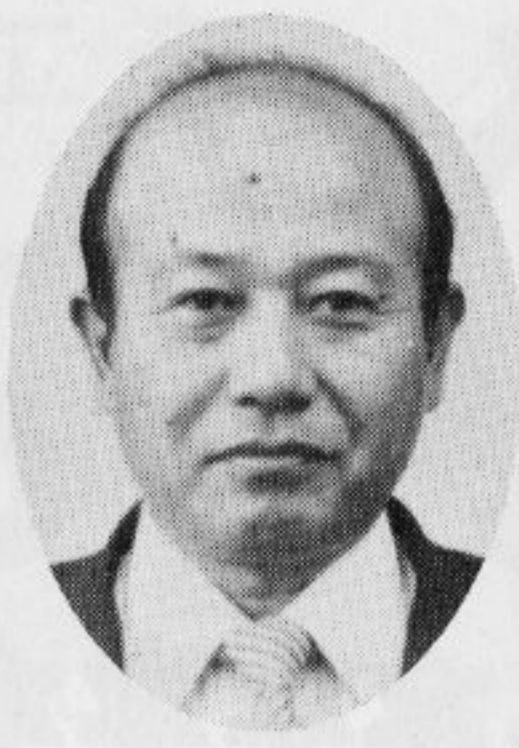
当日は、この賞の他に、自治功労・文化功労・スポーツ功労等併せて九十二名が、吉村県知事から表彰状を直接手渡されました。

我が商工会でも、会員の方二名が受賞された事は、名誉な事で、お二人に敬服するとともに、今後のご活躍を、お祈りいたしたいと思います。

任(就) さい(あ)

商工業と観光産業の有機的結合を

産業課 岡庭 一雄
商工観光係長



農業中心であった本村も、この二十一年間に工業化への傾斜を強め、勤労者が村民の大半を占めることになり、商工業に依存する村へと大転換を遂げてきています。

また、昼神への温泉湧出は観光産業を興し、この盛衰が村の発展に大きく影響を及ぼすことになってきました。

こうした状況下で、商工観光行政の拡充強化が、村内外より求められている時、年度末の人事異動において、商工観光係に赴くことにな

りましたので、よろしく御指導の程をお願いいたします。

さて、総合的な行政面でのウェイトが高まっている事にあわせて、今日の商工観光行政が当面している課題も大きいものがあります。工業の面では、円高問題が大きくかぶさってきており、これから、どう経営を守っていくのか最大の課題であります。

商業の面では、村内購買力と商業配置の点が、大きな問題であり、村内購買力の増大もさることながら、村外からの誘引という課題も、本村商業の盛衰を握っていると思えます。観光面では、昼神温泉の

ここ十年間の開発が、温泉源確保と宿泊施設整備に主力を注いできたために、環境整備、並びに、村内産業と観光産業の有機的結合への条件整備等が残され、名実共に村の主力産業への発展には、様々な課題を乗り越えなくてはなりません。

これらの課題は、村行政が単独で解決できるものではありません、その業に携わる方々の考え方や、実践が、行政に反映されて解決されることであり、経営者のみならず、一般村民の方々の希望や、期待との整合性をもたなくては発展できないものであると考えます。

おわりに、商工会員の皆様方の御活躍と御協力をお願いし、村民の方々が、商工業の発展に強い関心を寄せられていただくことを願っています。あいつといたします。

私にも広告が書けた!

(P.O.P. 広告講習会)

去る五月十四日、商業、サービス業の方を対象に、P.O.P. 広告講習会を開催いたしました。

自分で広告が作れるとあって、会場は、期待に胸をふくらませた聴講者ばかりでした。先生は、千代田ビジネスス

クール講師でもある井上公先生を招き、手書き広告の基本から教えていただきました。広告が、なぜ必要か、事前に講義を受け、その後、実践に移りました。ふだん、何気なく書いているチラシ・広告・プライスカードも、この技術

経営者年金の

取扱いについて

飯田信用金庫では経営者のための年金制度を発足いたしました。

制度の特色

- ① 中小企業経営者の方々のための年金制度です。
- ・ 経営者、役員の方の老後生活の財源を計画的に準備できます。
- ・ 有利な運用を楽しみながら老後の安定した生活づくりにお役に立つ年金制度です。
- ・ 年金開始は六十才以降

信金だより

八十才までの間で自由に選べます。

・ 年金種類は、十年確定年金、十年保証付終身年金があります。

② 掛金の払込みは毎月払い、払込み方法は口座引落し。

・ 掛込額は壹万円、最高拾万円まで。

・ 信用金庫の所定口座から、毎月二十八日に自動的に振替。

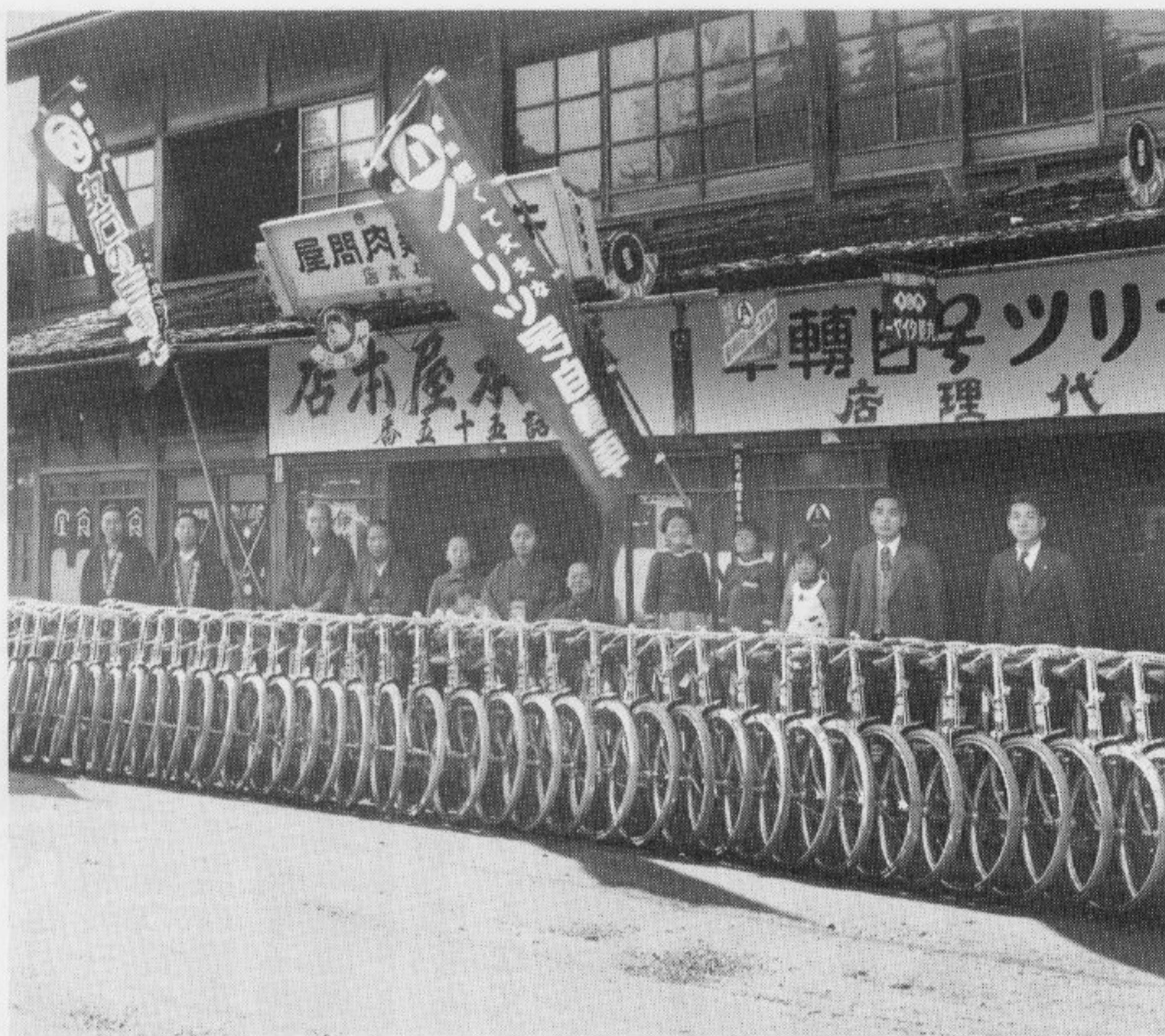
③ 受付期間、六月二十二日までです。詳細については信用金庫までおかけ下さい。



受講者の力作が勢ぞろい

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第一回

創刊号から第八号まで連載いたしました「商工会の思い出事業」も、先号で終りとなりましたので、今号から「我が家の秘蔵写真」と題して、会員の方から、古き良き時代の写真を提供していただき当時を語ってもらいたいと思います。温故知新と思しますが、なつかしさの中に、何か今後の商工業の礎としていただきたいと思ひます。



郵便局納車用自転車（昭和10年）

駒場上町一丁目、(有)橋本屋 ホンダ、橋本吉己さん所蔵
昭和十年春、通信省（現郵便局）へ納車時の写真で、右から六番目が橋本吉己さん（小学校一年生）、右から二番目が、店主で父親の故、清五郎さん。

当時の交通期間は、駒場・飯田間に、定期バス（十五人乗り）が、数往復走っており、タクシーも二社、四台がありました。荷馬車から自転車へと移行時もあり、自転車の普及途上でした。一台三円〜五円位で、当時

の番頭さんの給料が、五十銭〜一円位でしたので、一般庶民にとっては、高い買い物でした。近隣村へ、毎月一台持って出向き、無尽（講）による購入も行われたそうです。銘柄は、ノールツ号、丸石号が主流で、タイヤの直径が二六インチ（約八十五センチ）もある黒塗りの骨太で、ガッチリした自転車でした。使い捨ての現在と違い、修理も多く、技術で勝負する時代で、技術習得をめざす番頭さんを抱えて、日曜日も無い忙しい毎日だったそうです。橋本さんは、当時を振り返り「劇場もあり、カフェーもあり、芸者衆も三十人近くおり、毎月十八日は、縁日が開催されて、駒場の商店街の全盛時代であった。納車の折には、ハッピー姿の番頭さんが、一台の自転車に乗り、もう一台を片手であやつって、さっそうと運転していくのを、子供心にカッコ良く思った」と語ってくれました。

企業探訪 No.8 アチ帽子株式会社



工場内作業風景

久しぶりに降った雨で、野山の草木が緑に映える中、二宮社長さんにお忙しいところ時間をさいいただき、お話を伺いました。

- 《代表者》 代表取締役社長 二宮 章
- 《創業》 昭和52年9月28日
- 《資本金》 300万円
- 《従業員》 17人（男4、女13 全員村内在住者）
- 《主な製造品》 毛糸帽子、マフラー

当社は、社名のとおり毛糸の帽子製造を営んでおり、毛糸一染色一糸巻一編立一裁断一縫製一出荷と一貫した工程で製造され、完成品が日産100ダースと全国でも数少ない量産会社です。

当初名古屋で経営していましたが、下請けのメリヤス業者や縫製業者が阿智村にあり、利便性や管理の面から当地にやっ

て来ました。現在の工場は、農協の稚蚕飼育所を、編立、縫製等の工程を一ヶ所で、出来るようにと買取って、業界でも珍しい一貫生産が出来る企業となりました。

この市場は、北海道、東北、北陸、北関東の寒冷地が主で、その他、魚業従事者の着用として、四国、九州への市場もあるそうです。毎年、7月〜12月が最盛期で、この間在庫も10ヶ月程度抱え込まなければならず、暖冬

の場合は、打撃があるようです。最近では、防寒だけでなく、ファッション性も問われる時代にきているので、コンピューター全自動編機四台を購入して、時代のニーズにあったデザインもこなしております。

従業員の平均年齢は40才で、創業以来、従業員定着率も良く、そのために、個人個人の技術水準も年々向上してきているそうです。

今後も引き続き、日々変わる時代の流れに合った経営をしていきたいそうです。

《会社のモットー》 コストの低減を計りながら、お客のニーズにあった製品づくり



食品衛生協会からののお知らせ

食品衛生協会阿智支部から今後の日程についてお知らせいたしますので、該当の方は準備等をお願いします。

☆六月十六日(火)

一般検査事前指導と

物質斡旋

地区役員が、保健所の一斉検査前に行う指導で、①自主管理手帳の記帳・整備②サンコリテップによる自主検査および記録③廃棄処理と清潔保持④手洗所の清掃⑤手洗器と各種洗剤・薬品の保存管理等の指導を行いますので、薬品等必要の方は、この日にお申し出下さい。

☆七月三日(金)

保健所係官による村内全事業所の、立ち入り検査

内容は、事前指導の内容に準じますので、準備をお願いします。

☆七月十七日(金)

営業許可証書替更新と阿智

支部総会・保健所講習会

営業許可証の期限満了による書替(午前中)。阿智支部総会と保健所による食品衛生講習会(午後)

年金相談は

お気軽に

商工会では、毎月第四木曜日を社会保険相談日として、年金・社会保険の資格取得・変更・傷病手当の請求・年金の受給などに関する相談を社会保険事務所の相談員によっ

て行っています。

場所は商工会館で、時間は午前十時から午後三時(昼食一時間除く)までです。

商工会員以外の方でも、相談のある方は、お気軽にお出掛け下さい。

年間の予定は次のとおりです。

- (六月二十五日・七月二十三日・八月二十七日・九月二十四日・十月二十二日・十一月二十六日・十二月二十四日)

知っておきたい収入印紙のおはなし

お分かりにならないことや、なるのかなど、

私たちは、日常生活のなかで、いろいろな文章を作成したり、もらったたりします。これらの文書の中には、領収書をはじめ金銭の借用証書、不動産売買契約書、家を建てるときの建築請負契約書、毎月の地代や家賃を支払うとき

の受取通帳、手形、商品券、委任状など印紙税のかかるものがあります。

印紙税が課税される文書は、二十五種類に分類されておりその文書を作成した人が、定められた額の収入印紙をはり、文書と収入印紙の両方にかかるように消印をして納めます。

なお、印紙税がかかる文書かどうかは、文書の標題や名称に関係なく、その文書の内容によって判断します。

収入印紙をはらなければならぬ文書に、収入印紙をはらなかつたときや、た

とえ収入印紙をはっていても、納めるべき印紙税の額よりも、少ない額の収入印紙しかはってない時は、はらなかつたり不足している印紙税額の三倍に相当する額(最低額千円)の過怠税がかかります。また、正しく収入印紙をはって

ご協力を!

本紙も、発刊から九号をかぞえ、途中、県連の会報コンクールにおいて最優秀賞を、いただきました。これも、ひとえに会員の皆様のご協力の賜と思えます。

本号から始まった「我が家の秘蔵写真」も、皆様方の写真の提供によって、更に充実してまいりたいと思っております。古い写真をお持ちの方は、是非、お貸し下さい。

も消印をしなかつたときは、印紙税額と同額(最低額千円)の過怠税がかかりますので、十分注意して正しい印紙税額を納めてください。

文書を作成するときに、印紙税がかかるものかどうか、また、税額はいくらになるのかなど、

もっと詳しく知りたいたいことがありますたら、遠慮なく、商

工会・税務署へお尋ねください。



編集後記

○：円高不況下第二十七回の本会通常総会が無事終了しました。欠員中の役員の補充もできて佐々木会長のもと完全な役員構成による会の運営体制が整ったことは、嬉しい限りです。

○：それにしても、役員諸氏の間での健康状態が余りにもよくないことが気がかりです。

お互いに健康管理には、十分気を付けて責任のある会の運営に当たることが肝要だと改めて思います。

○：売上税騒動もよくやく沈静化してきましたことは、何よりの結果だと思えますが、わが国の経済の現状は世界経済の大波にもまれて生気を余りにも失っているようです。

我々弱小商工業者の今後の経営の見通しは暗く、且つ危機的な要素を持っていると思えます。

○：今こそ我々会員は、会の組織に結集し、組織の強化を計ると共に会員自身の経営体質の強化を計り、県や地域の適正な指導を受けながら、地域経済発展を通じ、地域全体の振興を計るよう二十七回総会の成功を契機に再認識をするよう心掛けを新たにしたいものです。

(編集委員長 渥美貞己 記)